


アナゴの恵方巻水槽



上越市立水族博物館『うみがたり』では、令和7年1月25日（土）から2月2日（日）までの間、節分にちなんだ「アナゴの恵方巻水槽」を展示します。

恵方巻とは、節分の日はその年の福を呼び込む方角である「恵方」を向いて食べる巻き寿司のことで、無言で1本まるごと食べると縁起が良いと言われています。

恵方巻の代表的な具材の一つとして知られる「マアナゴ」の水槽内に、恵方巻に見立てた筒を設置し「マアナゴ」が筒に潜り込む様子を展示します。

季節感あふれる展示で、より多くの方に「マアナゴ」の魅力発見の場を提供します。

【この資料に関する報道関係各位 お問合せ】

上越市立水族博物館 うみがたり 広報担当：和田・村上・照井

住 所：新潟県上越市五智2-15-15

T E L : 0 2 5 - 5 4 3 - 2 4 4 9 F A X : 0 2 5 - 5 4 3 - 0 4 0 6

M A I L : kouhou@umigatari.jp

恵方巻の始まりは関西とされていますが、近年では全国的にも親しまれるようになりました。恵方巻の具材は七福神にちなみ7種類が一般的とされ、姿かたちが長いことから、長寿を願ってアナゴを使用することもあります。

飼育スタッフ特製の恵方巻に見立てた筒の中に、暗くて狭いところを好む「マアナゴ」が入る仕組みとなっており、身体を寄せ合い、筒から顔を覗かせる姿がご覧いただけます。今年はこの恵方巻を水槽内中央と下部に設置し、さまざまな角度から恵方巻の中に入った「マアナゴ」を観察できるようになりました。

ぜひ、季節感あふれる「アナゴの恵方巻水槽」で、「マアナゴ」の魅力を発見してください。

マアナゴ

英名 : Common Japanese conger

学名 : *Conger myriaster*

ウナギ目アナゴ科クロアナゴ属



北海道以南から東シナ海まで分布し、浅い海の砂泥などの底質に生息する魚です。昼間は底質に潜って休み、夜になると泳ぎ出て獲物を探します。

狭いところを好み、穴などにもぐり込む習性があるため、「穴子」と名前がつけました。

期 間：1月25日（土）～2月2日（日）

場 所：2階 日本海の多様性エリア